

# 県南初 小学教員を養成

八戸市の八戸学院大学(水野眞佐夫学長)は2024年度から、同大健康医療学部人間健康学科生を対象に、小学校教諭2種免許状が取得できる特別プログラムを開設する。16日、同大が発表した。同プログラムを履修する学生は、八学大に在籍しながら玉川大学(東京)通信教育課程の科目等履修生となり、2年間で免許取得に必要な単位取得を目指す。県内で課題となっている小学校の教員不足を補う取り組み。八学大は県南地域初の小学校教員養成機関となる。(千葉真由美)

## 八戸学院大

### 24年度から 玉川大通信で単位取得

八学大人間健康学科では現在、保健体育などの中学校教諭1種および高校教諭1種の免許状が取得可能。1種免許は大卒相当、2種は短大卒相当で取得できる

が、指導可能な範囲に違いはないとされている。同学科によると、プログラム開設は同市内の教育関係者から「定年退職などで小学校教員が不足してい

る」との声が寄せられたのを契機に、昨年9月から検討を進めてきた。他大学と提携例がある玉川大と協議し、免許状取得に関する事業の推進に合意。2月1日

付で協定を締結した。履修できる学生は同学科3年生のうち、卒業と同時に中学・高校1種免許を取得見込みで、学業優秀など八学大が定める推薦基準を

満たし、玉川大が履修を認めた人。本年度の1年生がプログラム初年度の対象年で、八学大は5人程度の履修を見込んでいる。

履修には別途費用がかかるほか、八学大の授業の合間を縫って玉川大の通信教育を受け、オンライン形式のスクーリングに参加する必要がある。

八学大で記者発表した同学科の吉田守実学科長は「地域の大学として、教員不足に悩む関係機関からの期待や学生の進路選択の希望などに応えられるようプログラムを進めていきたい」と語った。